

# 西階公園防災等施設整備事業 多目的屋内施設実施設計(案)【概要版】

令和4年4月 延岡市

計画趣旨／経緯等	・ ・ ・ ・ ・ 1
計画概要	・ ・ ・ ・ ・ 2
施設整備の基本方針	・ ・ ・ ・ ・ 3
配置計画	・ ・ ・ ・ ・ 4
平面計画	・ ・ ・ ・ ・ 5
全体計画	・ ・ ・ ・ ・ 8
まとめ	・ ・ ・ ・ ・ 9

## 計画趣旨／経緯等

本市では、「宮崎県地域防災計画」において、災害時における後方支援拠点（※）として位置づけられている西階公園の防災機能の強化やスポーツ施設の充実等を目的に、平成 30 年度に「西階公園防災等施設構想」を策定しました。

この施設構想について、パブリックコメントを実施したところ、市民の皆様より様々な角度から多くのご意見をいただきました。

それらのご意見も踏まえ、市教育委員会では、市民説明会を開催するとともに、市民の皆様や関係団体の皆様との協議を重ね、令和 2 年度に施設の基本設計を策定しました。

基本設計では、施設のコネプト、配置計画や平面・立面図のほか、外観・内観イメージや概算工事費等をお示し、パブリックコメント等により、広く市民の皆様のご意見を伺いました。

この基本設計を基に、今回、より詳細な設計となる実施設計（案）を策定しました。

今後は、この実施設計（案）のパブリックコメント等を経て、令和 4 年秋頃から施設の建設工事に着工し、令和 5 年度中の完成を目指して整備を進めていきます。

- ・平成 31 年 3 月 西階公園防災等施設構想策定
- ・令和 2 年 1 月 施設構想のパブリックコメント実施
- ・令和 2 年 6 月 市民説明会開催（市役所 2 階講堂）
- ・令和 3 年 3 月 基本設計策定
- ・令和 3 年 7 月 基本設計のパブリックコメント実施
- ・令和 4 年 3 月 実施設計策定
- ・令和 4 年 5 月 実施設計のパブリックコメント実施
- ・令和 4 年 10 月 建設工事着工～令和 5 年度迄（予定）



説明会の様子

### （※）後方支援拠点

大規模災害が発生した場合に備え、自衛隊、他の都道府県からの救急消防援助隊、警察の広域緊急援助隊、DMAT を受け入れるため、宮崎県があらかじめ県内 12 箇所の活動拠点（後方支援拠点）を指定しています。

西階公園は、県北に 4 箇所ある後方支援拠点施設の 1 つとして指定を受けています。



## 多目的屋内施設 計画概要

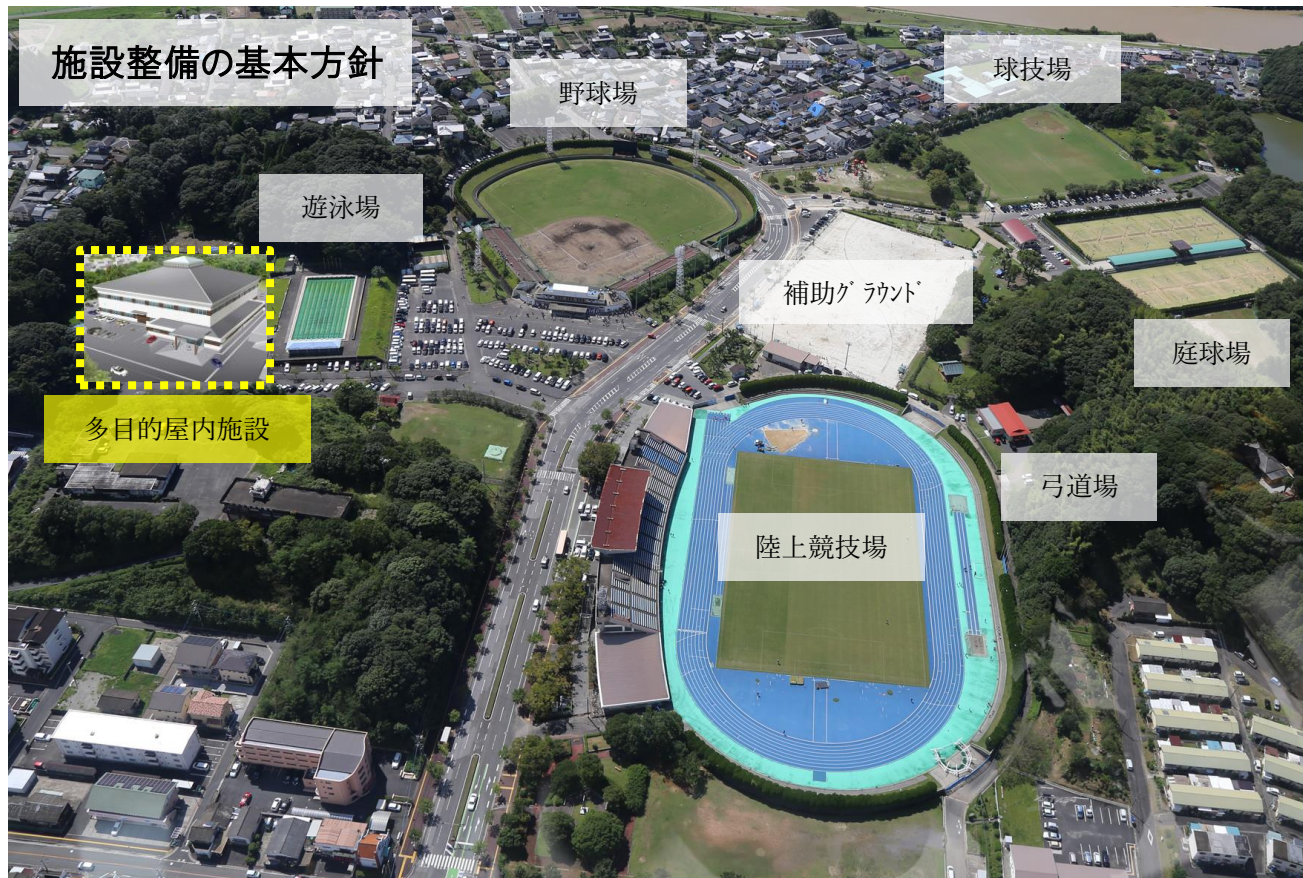
### 計画地概要

所在地	宮崎県延岡市西階町1丁目4355番地
敷地面積	6,800 m <sup>2</sup>
用途地域	第二種中高層住居専用地域
地域地区等	法22条区域
防火地域等	指定なし
許容建ぺい率	21.48%
許容容積率	21.06%
接続道路	市道大貫西階通線

### 建築概要

主要用途	多目的屋内施設
防火対象物	6項(11)
耐火	耐火建築物(自主)
構造	(基礎)RC造/(躯体)S造
工事種別	新築
建築面積	3619.13 m <sup>2</sup>
延床面積	3547.45 m <sup>2</sup>
階数	地上1階建て
最高高さ	22.14m

付帯施設	管理棟	管理人室
		ミーティングルーム
		多目的スペース
		男子更衣室/女子更衣室(脱衣所・シャワー室)
		男子トイレ/女子トイレ/だれでもトイレ
		機械器具類倉庫1/機械器具類倉庫2
		機械室
		駐車場150台(内、障がいのある方用2台)
		駐輪場



西階公園の将来像：市民の健康とまちの安全を担うスポーツ交流拠点

施設整備の基本方針

**【災害対応施設としての機能】**  
 災害時の物資拠点（救援物資・生活支援物資等）  
 県内の後方支援拠点となる西階公園の施設機能の充実  
 市民の一時避難場所  
 防災知識の普及・啓発、防災訓練の場

**【平常時の機能】**  
 天候に左右されずに活動できる利便性・機能性の高い運動施設  
 市民スポーツやプロスポーツキャンプ等、多様なニーズに応じた施設  
 多様な世代が安全・安心、快適に利用できる施設

西階公園の将来像と施設整備基本方針

▶延岡市第6次長期総合計画

- 第1部第6章：アスリートタウンの再構築
- 第4部第5章：スポーツ・レクリエーションのさらなる推進

・大会・合宿の充実、施設の整備拡充、生涯スポーツの振興、指導者等の育成や競技力の向上等

▶延岡市都市計画マスタープラン

- ・陸上競技場を核としたスポーツ交流拠点
- ・自然環境を活かした市民の憩いの場の形成
- ・地震災害時における防災拠点等

▶延岡市地域防災計画

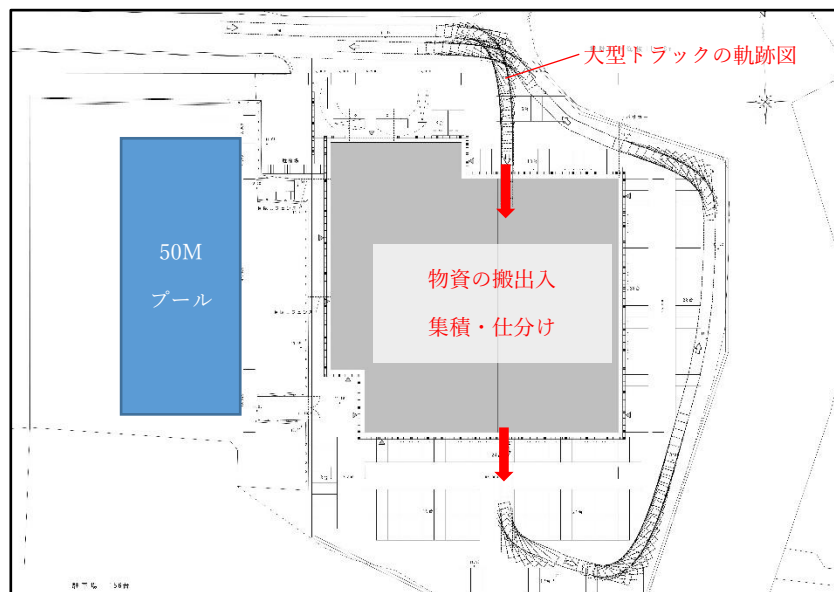
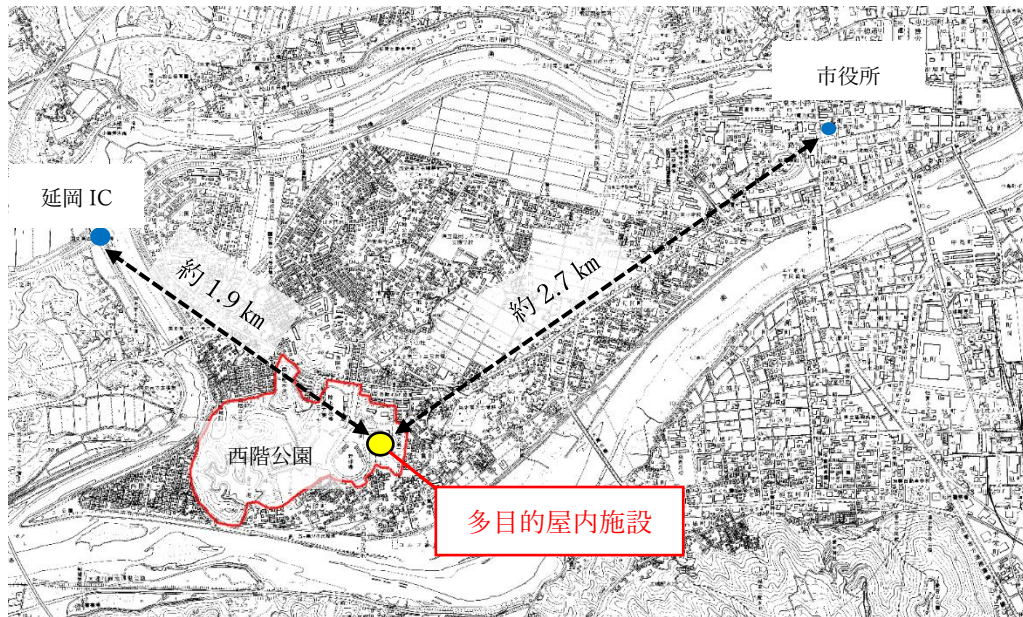
- ・大規模災害時における広域支援体制としての後方支援拠点

▶宮崎県地域防災計画

- ・大規模災害時における県内12箇所の活動拠点（後方支援拠点）の一つ

上記の計画や「アスリートタウン・のべおか」におけるスポーツ中核施設等の位置づけを踏まえて西階公園の将来像及び施設整備の基本方針を定めました。（施設整備基本構想）

## 配置計画



多目的屋内施設を建設する西階運動公園は、宮崎県の地域防災計画において、災害時の「後方支援拠点」とされている防災拠点であり、また、様々な運動施設やクロスカントリーコース等がある県最大の総合運動公園です。

延岡市中心市街地から西方へ約 3 km、東九州自動車道延岡インターチェンジから約 2 kmの西階町に位置しており、北は大分県、南は鹿児島県とつながり、アクセスも向上しています。

また、九州中央自動車道の整備進展により、将来的には九州全域と高速道路でつながる東九州の要「東九州クロスポイント」となり、更に利便性が向上していきます。

この立地条件に恵まれた西階運動公園内に災害時の物資拠点と平常時のスポーツ等利用を兼ね備えた多目的屋内施設を整備することにより、市民の安全・安心な暮らしを支えるとともに、公園内にある様々なスポーツ施設を連携して効果的に活用していくことで、スポーツ大会の開催やプロスポーツキャンプ等の更なる誘致によって交流人口の拡大を図ることができます。

多目的屋内施設は、公園の東側にある 50M プールに隣接して整備し、プール利用者と更衣室等を兼用できるようにしています。また、災害時には、救援物資や生活支援物資等を運ぶ大型トラックが、施設の北側から搬入して、施設内で物資を積み降ろし、南側から一方通行でスムーズに搬出できるように配置をしています。

施設の周囲には新たに駐車場約 150 台を整備し、公園の課題となっている駐車場不足の緩和を図ることができます。

こうしたことに加え、公園入口付近道路の渋滞等の対策として、今後、歩道や車道の右折レーン整備のための調査・測量等を行っていくこととしています。

# 平面計画1

## 平常時・・・

グレー：共有スペース

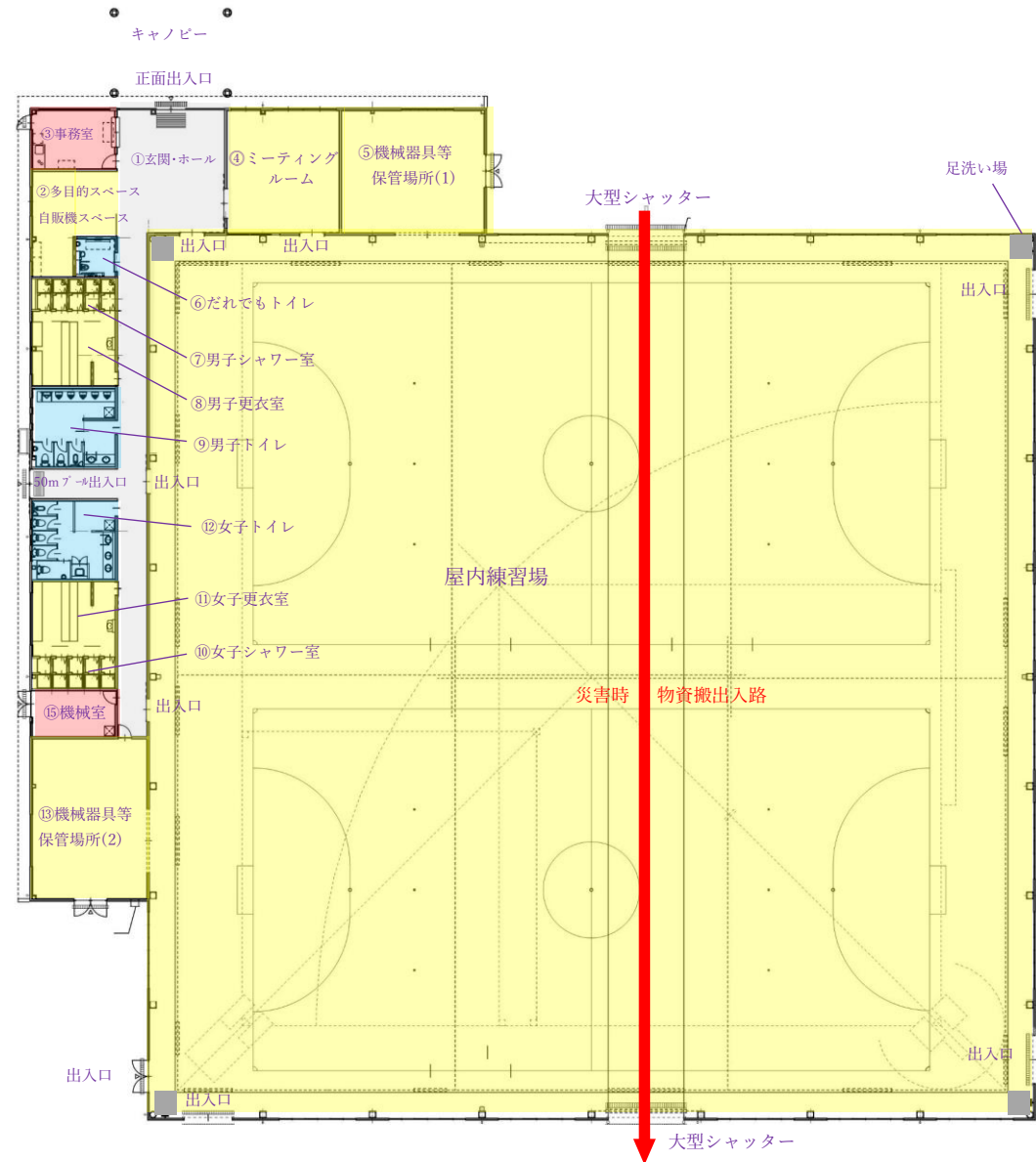
青：主に利用者が使用する共有スペース

黄：利用者が使用するスペース

赤：管理者が使用するスペース

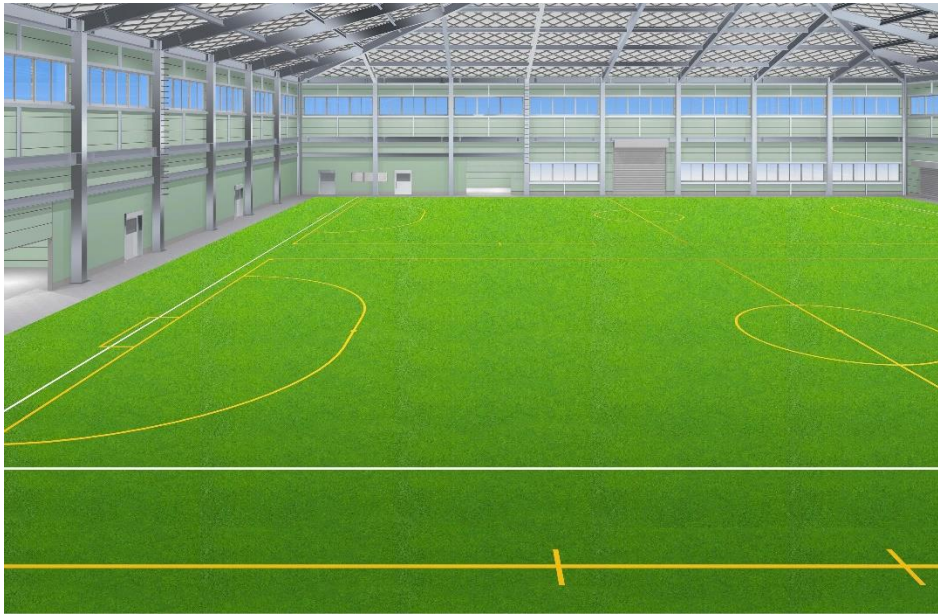
## 災害時・・・

全てのスペースが災害対応を円滑に行うために利用されます。



No.	諸室等	面積㎡
①	玄関・ホール	53.04
②	多目的スペース 自販機スペース	21.20 7.29
③	事務室	20.14
④	ミーティングルーム	55.38
⑤	機械器具等保管場所(1)	70.434
⑥	だれでもトイレ	7.02
⑦	男子シャワー室	10.60
⑧	男子更衣室	25.44
⑨	男子トイレ	26.50
⑩	女子シャワー室	10.60
⑪	女子更衣室	25.44
⑫	女子トイレ	26.50
⑬	機械器具等保管場所(2)	73.7665
⑭	屋内練習場	3,025.00
⑮	機械室	15.90
⑯	通路	73.20
	合計	3,547.45

## 平面計画2



屋内練習場（メインアリーナ） イメージ

<規格>55m×55m <面積>3,025.00㎡ <床面>人工芝

<天井>斜め格子母屋 <内壁>ALC板、鉄骨表し等

<天井高>最高部22.14m/メインアリーナ内ネット高10.5m

<区分けネット>外枠4面、その他区分けネット（電動・手動）

<主な用途>

【平常時】野球、ソフトボール、フットサル、ラグビー、グラウンド・ゴルフ等の各種スポーツの練習。保育園等の運動会、健康づくり、遊び場等

【災害時】後方支援拠点の物資集積拠点

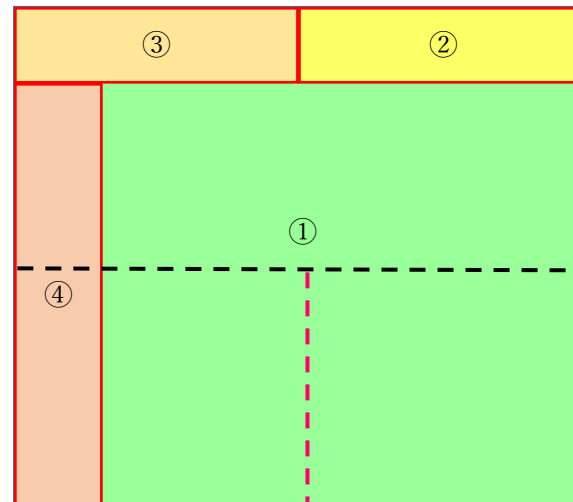
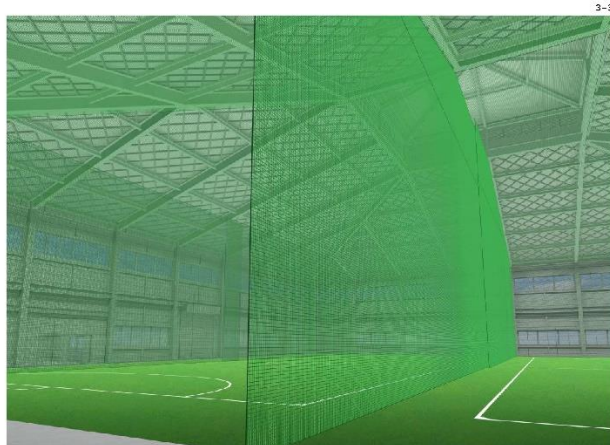
<その他>

メインアリーナの4隅に洗い場を設置して給水や手洗い等の場所を確保

周囲の通路にベンチを設置して観覧や休憩場所を確保

災害時の大型車両の出入口として南北に大型シャッターを設置

換気や荷物運搬の車両出入口等として3箇所にシャッター設置



### ネット区分け例

★野球

①内野ノック

②打撃練習1

③打撃練習2

④キャッチボール等

★フットサル

黒の点線で区分けしてコート2面使用可能

★その他

ピンクの点線で区分けして1/4面で使用可能

## 平面計画3



玄関・ロビー イメージ



ミーティングルーム イメージ

施設北側の道路に面したキャノピーを通り、正面入口から施設に入ってすぐ右側にある事務室で利用者への案内や利用受付等を行います。※キャノピーの高さは約4mあり、大型バスも進入可能です、雨天時でも濡れずに車の乗降や荷物の積み降ろし等ができます。

利用受付が終わるとそのまま正面のメインアリーナ出入口から中に入ることもできますし、右側の通路を奥に進むと、メインアリーナと隣接する50Mプールの利用者が兼用する男女の更衣室、シャワー室、トイレに行くことができます。

この通路からアリーナへの出入口が更に2箇所、50Mプールへの出入口が1箇所あります。

【男子トイレ】小便器6/洋便器2/和便器1/ベビーカー1/手洗い2

【女子トイレ】洋便器4/和便器1/ベビーカー1/手洗い3

【男・女更衣室】ロッカー室/脱衣所各5/シャワー室各5

【だれでもトイレ】洋便器1/ベビーカー1/ユニバーサルシート1/

オストメイト設備1/手洗い1

事務室の横には多目的スペースと自動販売機設置スペースを設け、休憩など自由に利用できるフリースペースとして活用できます。ロビー左側にはミーティングルームがあり、部屋の中からメインアリーナの観覧や出入りができるようになっています。

壁掛けのホワイトボードや放送設備も備えており、会議のほか、各種大会や運動会開催時の本部としての活用のほか、災害時には活動の指揮をとる本部等としての利用を想定しています。

また、エアコンも完備しており、災害時における市民の一時避難場所としても活用ができます。



## 全体計画



### 多目的屋内施設全体鳥観図イメージ

施設外観は必要な機能を確保しつつ、周囲の景観にも配慮し、城下町として市民に馴染みやすいお城風のデザインとしています。壁を漆喰の落ち着いた白、窓間は見下ろすイメージで茶色にしています。各所に設置した窓や最高部に設置した白膜から自然光を利用できます。

屋根面は中央に向かって勾配を設け、窓から取り入れた空気が場内で暖まると、上昇気流となって最高部の換気ガラリより放出されることで空気循環を生み出し、場内の温度上昇を抑えます。

隣接する50Mプールの更衣室等も兼ねており、また、令和9年度開催の宮崎国民スポーツ大会に向けて大規模改修（リニューアル）を行う野球場と連携することで、規模の大きな大会の開催やスポーツキャンプ・合宿の更なる誘致等による交流人口の拡大等が図られます。

## まとめ

### ■施設規模

屋内練習場（メインアリーナ） 55m×55m（面積3,025.00㎡）  
管理棟（面積522.45㎡）

### ■概算建設費

930,000千円（税抜き）あくまでも見込額です。  
※鋼材の高騰やその他の物価上昇、地盤改良工事の追加等により  
基本設計時の概算建設費よりも132,434千円増加  
事業財源（予定）国交付金50%、起債50%（内交付税措置50%）  
※整備にあたっては、国の交付金及び有利な起債を活用する予定です。

### ■年間管理費

約10,000千円（光熱水費、人件費等）  
※あくまでも見込額です。他自治体における同規模類似施設の管理費を  
参考にしたもので、積算した数値ではありません。

### ■主な用途

災害時 災害時の防災拠点  
救援物資等の受入、集積、仕分け、配送等、市民の一時避難場所  
平常時 スポーツ・レクリエーション振興、健康づくり  
野球、ソフトボール、フットサル、グラウンド・ゴルフ等の各種スポーツの練習、プロスポーツキャンプ・合宿等  
の誘致幼稚園・保育園の運動会、地区の行事、その他、遊び場等の多目的用途

### ■想定利用料

他自治体における同規模類似施設を参考とした場合の想定利用料  
全面利用1,100円（1時間あたり）  
照明設備1,310円（1時間あたり）  
※施設を細分化して使用していただく場合は利用料及び照明設備料も安くなります。

